

## ラミナ管理強化で顧客対応向上

### ATAで木造倉庫2棟

二ツ井パネル

二ツ井パネル（秋田県北秋田市、鈴木建設社長）は、本社敷地内に木造倉庫2棟を建築中だ。同社はRウッド、Wウッドの中、小断面構造用集成材を中核とするメーカー。これまで貸倉庫に在庫していたラミナなどを自社倉庫で管理する体制に切り替えることで、顧客対応力を拡充する。木造倉庫はATAのハイブリッドトラス構造を採用し、構造用資材にはすべて自社製造のRウッド構造用集成材を活用した。

同社はこれまで、秋安定供給体制を拡充で田県沿岸部の能代などに、貸倉庫を用意し、ラミナを在庫してきた。だが、顧客の仕様に合わせた長さや寸法、規格などで納期を順守して安定供給することを信条とする同社にとって、顧客のサポート、



建築中の木造倉庫

か、ポリウムゾーンは240cm幅など一般流通サイズの製品で対応。Rウッドの採用により構造計算は容易になった。梁せいサイズなども小さくすることができ、建物の重量が軽くなることで基礎のコストも削減された。プレカットはATAの提携工場で加工した。建て方は11月2日に始め、20日には上棟した。現在はコンクリート舗装や外壁工事などを進めている。補助金などはなく、すべて自社資金だが、「特にこのいった単純な構造の倉庫などなら、木造で強度があり、安く、早いものができることが

「か、ポリウムゾーンは240cm幅など一般流通サイズの製品で対応。Rウッドの採用により構造計算は容易になった。梁せいサイズなども小さくすることができ、建物の重量が軽くなることで基礎のコストも削減された。プレカットはATAの提携工場で加工した。建て方は11月2日に始め、20日には上棟した。現在はコンクリート舗装や外壁工事などを進めている。補助金などはなく、すべて自社資金だが、「特にこのいった単純な構造の倉庫などなら、木造で強度があり、安く、早いものができることが

「か、ポリウムゾーンは240cm幅など一般流通サイズの製品で対応。Rウッドの採用により構造計算は容易になった。梁せいサイズなども小さくすることができ、建物の重量が軽くなることで基礎のコストも削減された。プレカットはATAの提携工場で加工した。建て方は11月2日に始め、20日には上棟した。現在はコンクリート舗装や外壁工事などを進めている。補助金などはなく、すべて自社資金だが、「特にこのいった単純な構造の倉庫などなら、木造で強度があり、安く、早いものができることが

「か、ポリウムゾーンは240cm幅など一般流通サイズの製品で対応。Rウッドの採用により構造計算は容易になった。梁せいサイズなども小さくすることができ、建物の重量が軽くなることで基礎のコストも削減された。プレカットはATAの提携工場で加工した。建て方は11月2日に始め、20日には上棟した。現在はコンクリート舗装や外壁工事などを進めている。補助金などはなく、すべて自社資金だが、「特にこのいった単純な構造の倉庫などなら、木造で強度があり、安く、早いものができることが

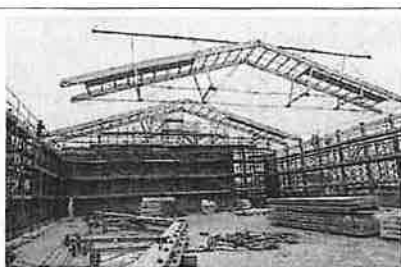
## ATA-CLT構法受注好調

1300㎡使用見込む

ATA

ATA（富山県滑川市、大倉義憲社長）が開発したATA-CLT構法の受注が好調で、倉庫、体育館等で80件、CLT使用量は1300

の受注が好調だ。大倉義憲社長は「年度末に向けてCLTの生産、加工がいっぱいのように、なかなか難しい」と話している。同社は、CLTパネルを壁に使い、テンションロッドをパネルの両端に設置して水平力を負担させる。L T構法を開発した。8月に北海道釧路市で2棟の木造倉庫（約1000平方メートル）を2棟建設した。壁に厚さ150、幅1200、長さ5650のCLTの側面に溝加工を行い、そこにテンションロッドを挿入して水平力を負担させる。大倉社長は「国を挙げてCLTを使おうというが、いざ使おうとする工場は手いっぱいという。規格化しているの、つくり置き



ATA-CLT構法の施工現場。屋根はトラスを使用した

もできる。輸入に頼らざるを得ないのか」という。CLTは当初、150mm厚を使用していたが、120、90mmなどスリム化してコストを下げることで補助金がなくてもCLTで建築ができるよう開発を進めている。

同様の構法で倉庫、クレイン付き倉庫、体育館など8件の受注がほぼ決まっている。ただ、CLT使用量が全体で1300平方メートルに達し、国内のCLTメーカー、加工会社での対応は難しく思う。大倉社長は「国を挙げてCLTを使おうというが、いざ使おうとする工場は手いっぱいという。規格化しているの、つくり置き